

次のように議会報告会を開催した。

榛原地区 5月14日(金) さざんか

担 当	司会進行	中野康子	議事記録	増田伸三、鈴木千津子
	議会報告	名波富幸、	太田佳晴、	桑田幸一、鷺坂隆夫、良知義廣
開会挨拶	名波富幸			
閉会挨拶	静波区長	須藤信夫様		

相良地区 5月15日(土) 相良史料館

担 当	司会進行	中山 香	議事記録	赤堀 勲、沢田隆弘
	議会報告	鈴木正樹、	小杉康男、	川島啓司、本杉光男、赤堀 勲
開会挨拶	田村兼夫			
閉会挨拶	名波富幸			

報告内容

(1) 議会の活動に関すること (名波、鈴木正)

議会の仕組み

2 常任委員会(総務建設、文教厚生)、特別委員会(原子力、議会広報)と議会運営委員会からなり、全議員に説明・議論の必要な時は、全員協議会を開催。また、2月～3月、6月、9月、12月には定例会が開かれる。

議会基本条例

議会の憲法ともいふべき、議会基本条例を昨年秋に制定した。これは、議会の一層の透明性と民主化を義務化したものである。(詳しくは、市議会ホームページまたは各公民館などに全文が配付してある。)

(2) 予算審議に関すること (太田、小杉)

予算審議

市の会計は、一般会計、特別会計(国民健康保険、老人健康保健、後期高齢者医療・介護保険)と土地取得、農業集落排水、水道事業にわかれている。各予算とも議案提出、説明、質疑、委員会付託、委員会の討議結果の報告、討論、採決の順で決定される。

市の事業とそれに伴う予算は、市の基本計画や市民の要望などを勘案し、担当内部で慎重に議論を重ね議案として議会に上程される。議会基本条例の制定により、予算のそれぞれの過程の査定が報告され、より透明性が増した。

市の財政状況

H22年度の一般会計は、昨年度に比べ12億7800万円の減(昨年比-7.4%)。景気落ち込みや榛原総合病院の負担(10億6200万円)などが原因である。議員数も合併前の32人から17名に減らし協力している。厳しい中でも、校舎改築に0.44億、消防ポンプ0.32億、住宅耐震化補助に0.13億は特筆に価する。

(3) その他重要と認められることの報告(糸田・川島)

榛原総合病院について

3月以降可能となった診療科は、総合内科(入院可)、消化器内科(初診可)、循環器科(心臓センター24時対応)。財政負担は、H23年度から医療事業経費(両市町で年額3億6000万円)、管理経費(組合職員の給与、起債償還)などでH22年度~H26年度14億~16億、H27年度以降は11億強の予定である。医師確保費やCT購入費はH22年度の10億6000万円の中に計上されている。経費の68%が本市負担となる。なお、指定管理者は組合に年6000万を指定管理者負担金として支払う。

消防の広域化について(本杉・鷺坂)

1県1消防の県の方針が示され、各地で広域の消防体制が議論されている。牧之原市はもともと榛原地区は吉田町と、相良地区は御前崎市と一部事務組合をつくり運営してきたが、今後、御前崎市は菊川市・掛川市と広域消防を目指し、牧之原市は、静岡市へ委託することとなった。御前崎市はH23年末に離脱を考えており、牧之原市の新体制が整うのはH27年度末になる。この間5年の相良地区の消防は御前崎市に委託する予定で、現在話し合いを進めているところである。

富士山静岡空港の利活用について(良知・赤堀)

富士山静岡空港の開港までには紆余曲折があったが、利用率も37番目に位置し、まずまずの状態である。活発に利活用してもらうためには、飛び立つ人だけでなく、来港する人たち(飛来・見学者)を大切にすることだ。それには、イベント、地域周遊観光コースの積極的な立ち上げが急がれる。「牧之原ナビゲーションプロジェクト(牧ナビ)」観光施設のここカードの活用、観光パンフレットのリニューアル化、市の「エアポートエコミュージアム」構想、お茶流通拠点事業構想(茶市場等の設立)、新幹線空港駅設置構想も重要な課題である。議会としてもこれらの構想実現のために積極的に取り組んで行きたい。

* 報告会の折に寄せられた質問、意見、要望等については、別紙のとおり。



議会報告会の様子(相良史料館)